

## ITB Berlin 20234

世界最大のトラベルショー復活の印象です。旅行業会だけではなく、Travel Technology, Hotel Technology各社が大勢出店していました。

### Topics1

#### デスティネーションとデマンドとしての中東

中東各国のプレゼンスが日増しに高まっていることを実感しました。各国巨大なブースで出展を行い、旅行代理店もホテルも集まっています。

### Topics2

#### ディストリビューションを理解がひと段落か

以前はチャネルスイッチの企業が多く見受けられましたが、今回はチャネルスイッチよりもチャネルマネージャの会社が目立っていました。スイッチの会社は展示会場を回り個別商談に持ち込んでました。

### Topics3

#### ホテルの営業活動としての場

グローバルチェーンはどこも巨大ブースを仕立て、自社が欲しいマーケットから集客しようと、色々なエージェントで溢れかえっています。比べると日本は一本釣りの活動になってしまうのかなと感じました。マスでの取り組みが必要だと思います。

### Topics4

#### AIの活用

AIとは語っているもののChartGPTを組み込んだChatアプリ、レпутーションマネジメントが主力でした。一番業界が望んでいる分野のWork Force Managementはまだだなと感じました。

### <CLOUDIT EYE>

日本のホテル会社が海外セールスを拡大しようとしています。今まで営業所を閉めていたところも再開させたり、人員を増やしたりしてきています。良い傾向ではありますが、やはりこのレポートで触れているようなBtoBへの取り組みやITを使った業務補助に向けて動かないと、時代遅れのビジネス形態になってしまうと思いました。

あるプレゼンで、ドイツの30ホテルぐらいの社長が語ったのですが、経営者自らが戦略実行のための仕組みやITを理解しないと、今の時代は業績の観点においても、従業員向けのサービスにおいても到底間に合わないと言っていたのが印象的でした。貴社のトップはいかがでしょうか？

### Curry Wurst



ITBは寒い、混む、ストライキの三拍子が毎度揃っていました。

しかし今年は暖かく、ダウンでの移動も必要ないぐらいでした。

おそらく来場者は例年をはるかに超えていると思いますが、会場は混み合っており、また例年通り、座って食事もできないほどでした。

そこへ起きたのが「ルトハザ」とドイツ国鉄のストでした。

ストの鉄則は欧州に慣れている人から聞いたのですが、まずはストで止まるエリアから逃げ出せということのようです。みなさん鉄道でおそらくオランダへ逃げたのではと思います。

でもルトハザやドイツ国鉄のブースは絶賛盛り上がりでしたが・・・

日本人の参加も例年に比べると増えたのかなと思いました。知り合いにも会うことができましたし、またそれらしき方も見かけることができました。ぜひご自分の会社へ戻られ、情報共有いただければと思います。

## <モバイルソリューション>

日本国内でも色々な会社がモバイルソリューションとして出しているが、今回その中でも大手であるCanary社のソリューションをじっくり見ることができた。HITECでは人だかりができて、あまりじっくり見ることができなかったが、今回は比較的ゆったり見せてもらった。

要はチェックイン、レジストレーション、決済、IDの取得をすべてゲストのモバイルの中で完結させる。特にIDの取得においてスマホのカメラで写真を撮るという流れになっているところが気に入った。またゲストとのやりとりにSMSを使用している。日本ではSMSへの送信プラットフォームを使うことについては難易度が高いが、このCanaryは海外クラウドを使うことにより、簡単にインテグレーションできる様子だ。アプリのインストールも必要ないため、一見のゲストも簡単に使うことができるようだ。日本進出をしている海外ホテルチェーンが使いだかっているの、期待したい。

## <注目の会社>



ポルトガルで生まれたAI-ChatBotの企業です。テキスト、音声の認識を行い、140言語への対応が可能だとのこと。このChatBotを使ったソリューションではChatBot自身がいわゆる公的に流通している情報を使うため、プロモーションツールにならないのではないか？という心配がありました。この企業はそう言った要望に応えるため、ChatGptに自社ウェブの情報も組み込んでくれ、プロモーション的にも使えるようになったとのことでした。一度詳細聞いてみます。

## <次回予告>

次は6月にHEDNAヨーロッパ会議に参加してきます。結構スモールサイズのホテルの議論なので日本にあった話も聞けるのかなと思います。

またホテルIT&リノベーション展示商談会で配布される、本イベントの冊子が4月の展示会から配布されます。ぜひご参考までにお読みいただければと思います。

<https://www.hotel-tenjikai.jp/>

本NEWSはバックナンバー含めて弊社ウェブサイト ([cloudit.jp](https://cloudit.jp)) でも公開しております。

2024年3月12日

CLOUD IT, Inc. 2023

<お問い合わせ>

クラウドイット株式会社 [info@cloudit.jp](mailto:info@cloudit.jp) 電話:03-6416-3270